

仕 様 書

多点監視ソフトウェア

KF-02B

No. 02005

**リオン株式会社**

# 仕 様 書

仕第 02005号  
平成14年10月15日制定  
リオン株式会社

1. 製品名 多点監視ソフトウェア
2. 型 式 KF - 0 2 B
3. 概 要 多点監視ソフトウェアKF-02Bは、複数の測定点に設置したパーティクルカウンターを制御する多点監視システム用のソフトウェアで Microsoft Windows 2000 上で動作する。  
最大248台のパーティクルカウンターを接続することができ、パーティクルカウンターの自動運転、データ収集、表示、ファイリング、印字などが可能である。

\* 本仕様書中の会社名、商品名は、一般的に各社の商標または登録商標である。

## 4. 仕 様

### 動作環境

#### ワークステーション(WS)本体

CPU Pentium 4 1.0 GHz 以上の CPU を搭載し、CD-ROM ドライブ、シリアルポート(RS-232-C インターフェース)及び USB インターフェースを有した IBM PC/AT 互換機

RAM 128 MB 以上

#### ハードディスク

100 MB 以上の空き容量をもつハードディスク

OS Microsoft Windows 2000

(日本語で表示する場合は日本語 Microsoft Windows 2000)

プリンター Microsoft Windows 2000 で動作が保証されているプリンター

#### RS-232-C 拡張インターフェースボード

ワークステーション(WS)本体内蔵の RS-232-C インターフェースでポート数が足りない場合に拡張用として使用

使用可能な拡張用インターフェースは、Microsoft Windows 2000 環境で動作が保証されているもので標準デバイスとして使用可能なもの

動作確認済みのボード : Contec 社製 PCI バス方式の RS-232C 通信ボード COM シリーズ

#### アラームユニット

アラーム出力使用時(別売)

#### RS-232C ~ RS-485 信号変換器

Multi(R)モード、Multi(M)モード使用時(別売)

供給メディア CD-ROM

## 機能

### ファイルメニュー

[ 表示フォント ]

選択した画面のフォントを変更

[ 印刷 ]

選択した画面をそのまま印刷するハードコピーと、一定周期で自動的に印刷する自動印刷が可能

[ ファイル変換 ]

指定した範囲の測定データをテキストファイルに変換して保存

[ 測定データファイルの移動 ]

一定期限を経過したデータを、指定したフォルダへ移動

[ ログアウト ] 不正な操作を防ぐ為のログアウト

[ 閉じる ] プログラムを終了

### 測定メニュー

[ 開始 ]

ノードの制御を行い自動測定を開始

システム全体、グループ単位、測定点単位で測定開始可能

[ 終了 ]

測定を終了

システム全体、グループ単位、測定点単位で測定終了可能

[ 測定条件 ] 測定に関する条件を設定

### 表示メニュー

[ リアルタイム表示 ]

リスト表示、グラフ表示、マップ表示が可能

[ ヒストリー表示 ]

リスト表示、グラム表示、アラーム表示、エラー表示が可能

[ ツールバー ] よく使うメニューアイコンが登録済み

[ ステータスバー ]

情報を表示

[ コマンドバー ]

ノードとの通信状態を表示

[ アラームバー ]

アラームが発生している測定点を表示

[ エラーバー ] エラーが発生している測定点を表示

### 編集メニュー

[ コピー ] クリップボードへコピー

[ 貼り付け ] クリップボードから貼り付け

### オプションメニュー

[ 表示言語の切り替え ]

表示言語を日本語もしくは英語に切り替え

[ 通信記録の保存 ]

ノードとの通信履歴を保存

[ 使用者登録 ] 管理者、使用者を登録

## ウインドウメニュー

- [ 重ねて表示 ] 開かれたウインドウを重ねて整列
- [ 横に並べて表示 ]
  - 開かれたウインドウを横に並べて整列
- [ 縦に並べて表示 ]
  - 開かれたウインドウを縦に並べて整列
- [ アイコンの整列 ]
  - ウインドウを最小化したアイコンを整列
- [ 閉じる ] 選択されているウインドウを閉じる
- [ ウインドウリスト ]
  - 開かれているウインドウを一覧表示

## ヘルプメニュー

- [ バージョン情報 ]
  - バージョンを表示

## 測定モードについて

- Multi(R)モード KMシリーズ以外のシリーズ中で指定された製品用  
20台または31台までのパーティクルカウンターをバスラインやサブラインを使い、変換器を通してシリアルポートへ接続し、制御および測定値の収集をおこなうモード  
休止時間0秒の測定が可能(測定時間 = 測定周期)  
すべてのシリアルポートにパーティクルカウンターを接続した場合にはシステム最大で160点(20台 × 8COM)または248点(31台 × 8COM)の測定が可能  
測定時間精度は ± 2秒、または ± 5% 以内  
最小測定時間 = 10秒、最小測定周期 = 10秒(接続台数1台の時)
  - Multi(M)モード KMシリーズ中で指定された製品用  
31台までのパーティクルカウンターをバスラインやサブラインを使い、変換器を通してシリアルポートへ接続し、制御および測定値の収集をおこなうモード  
休止時間0秒の測定は不可  
すべてのシリアルポートにパーティクルカウンターを接続した場合にはシステム最大で248点(31台 × 8COM)の測定が可能  
測定時間精度は ± 2秒、または ± 5% 以内(サンプル時間に対して)  
最小測定時間 = 10秒、最小測定周期 = 15秒(接続台数1台の時)
  - Manifold(M)モード チューブ多点方式のためのマニフォルドに対応したシリーズ中で指定された製品用  
パーティクルカウンターをシリアル接続し、マニフォルドを切り替えながら制御および測定値の収集をおこなうモード  
すべてのシリアルポートにパーティクルカウンターを接続した場合にはシステム最大で256点(32点 × 8COM)の測定が可能  
測定時間精度は ± 2秒、または ± 5% 以内  
最小測定時間 = 10秒、最小測定周期 = 40秒
- 測定データファイル 測定条件、測定点名称、測定日時、カウント数、アラーム、エラー、コメント、エラーレベルなどを保存

ユーザー数	ワークステーション 1 台につき管理者の他に 5 人のユーザーまで登録可能	
ワークステーション台数	表示用ワークステーションを含め、システム全体で最大 16 台まで設定可能	
グループ数	システム全体で最大 99 グループまで登録可能	
測定点数	1 グループ内に作成できる測定点の最大数は 256 点まで システム全体で最大 256 点まで(いずれも測定モードにより異なる) リンクノード機能を用いる事により最大 16 台までのノードをひとつの測定点として登録可能(1 台のパーティクルカウンターに対して 15 台までの環境センサー)	
ノード数( 接続台数 )	システム全体で最大 256 台まで( 測定モードにより異なる )	
チャンネル	1 測定点につき最大 16 チャンネルまで設定可能	
シリアルポート数	ノード接続用のシリアルポート数はシステム全体で 8 ポートまで	
登録可能なグラフ数	ユーザーにより構築されたグラフは 99 まで登録可能	
グラフ表示幅	365 日分まで	
グラフ系列数	一つのグラフで最大 16 系統まで表示可能	
データリスト表示行	ヒストリデータリストは 5000 行まで表示可能	
アラームユニット	ワークステーション 1 台につき 2 台まで接続可能	
アラームユニット出力リレー番号	1 番から 368 番まで	
コンピューターバリデーション対応可能		
付属品	プロテクトキー( HASP )	1
	取扱説明書	1
	検査表	1
	保証書	1

本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。